

ひろげる つなぐ かえる

expand
join
change

10 2011

2011年9月25日発行
通巻 154号

コラム

「人」としてのあり方が問われる NPO活動

特定非営利活動法人三重県子どもNPOサポートセンター 理事長
NPO法人チャイルドラインMIEネットワーク 代表理事
田部 眞樹子

NPO物語 Vol.30

特定非営利活動法人 大杉谷自然学校

校長(理事長) 大西 かおり

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



「人」としてのあり方が問われるNPO活動

特定非営利活動法人三重県子ども NPO サポートセンター 理事長
NPO法人チャイルドラインMIEネットワーク 代表理事
田部 眞樹子

行政も企業も当然のことですが、ましてや社会変革を旨とする NPO に於ける事業の展開は、ニーズに基づいて立てられたミッションを具現化する現場であることが問われると思っています。そして第三者による客観性ある成果の検証です。

それを実現するためには継続性が必要で、社会的責任を負うためにも組織化の必然が生まれるのではないのでしょうか。

但し、組織というのは作っただけでは、人間に例えるなら骨格あるのみの状態です。組織の命は「運営」。運営があって肉付けされ血液も流れるというものです。本当の意味で組織は、その時初めて機能するのだと私は考えています。つまりかかわる人によって入魂され、活きた(生きた)存在になるということです。理論や理屈ではなく、運営はかかわる人の人間性で、感性でされていきます。それだけに組織を作り運営していくことは「人」としてのあり方が問われることになると思っています。ということは自分みづめの機会でもあり、人としての成長につながることにと言えるでしょう。常々私自身は、生き様を子どもたちに見られ続けている NPO として、そうありたいと己に課しています。

NPO を立ち上げる動機は様々で、一番多いのはそのことをやりたいからだと考えられます。勝手連の権化ともいえますが、だからこそパワーあふれる人たちが多くとも云えます。行政の公平性とは質を異にする、特化した事業展開が可能になる所以でしょう。

それだけに NPO 固有の特質を自己満足に終始してしまったり、(そのように見受けられる NPO が多いと感じるのは、本当に残念なことですが) 社会からの信頼には決して繋がっていかないでしょう。

自分勝手な自己満足を越え、社会変革の旗手としての誇りをかけて自己実現していく。それこそが NPO の醍醐味であり使命と考えるのは、私の独り善がりなののでしょうか。

助成金情報

 福祉  環境  国際  芸術

 福祉

損保ジャパン記念財団 自動車購入費助成

受付期間 10月14日(金) 当日消印有効

対象団体 ・東日本地区(愛知・岐阜・三重 含む)に所在する団体
・特定非営利活動法人、社会福祉法人(主として小規模通所授産施設に限定)の法人格を取得している団体、あるいは取得を目指している団体
・東日本大震災に関連し、主として避難所、仮設住宅などで生活されている障害者を対象として活動する団体(含む任意団体)

対象活動 主として障害者の在宅福祉活動
※但し、加齢に伴う障害者(高齢者)の在宅福祉活動は除く

助成金の額 自動車購入費 1 件 100 万円まで(総額1,200万円)

応募方法 HP から Web で応募、または HP から申込書をダウンロードし必要事項を記入のうえ郵送。※詳細は HP 参照

問い合わせ先 損保ジャパン記念財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1
損保ジャパン本社ビル内
Tel 03-3349-9570 Fax 03-5322-5257

HP <http://www.sj-foundation.org/jyousei/jidousya.html>

 環境・国際

平成 24 年度愛・地球博成果継承発展助成事業

受付期間 10月14日(金)～10月31日(月) 15:00 必着

対象団体 ①代表者の熱意、識見及び能力が信頼するに足り、助成対象事業を遂行する能力を有する、法令により設立された法人格を有する団体。

② ①に準ずると看做される任意団体。(定款又は寄附行為に準ずる規約等を有し、団体の意思を決定し、助成対象事業を確実に実施できる体制が確立されているとともに、自ら経理する会計能力を有

し、会計監査人又はそれに準じる者が任命されている、日本国内に本拠となる事務所を有する団体)
※但し、国・地方公共団体、営利を目的とする団体及び個人は対象外。

対象活動 「自然の叡智」をテーマに開催された「愛・地球博」の基本理念を継承発展させる事業。

(1) 愛・地球博記念事業を発展促進させる事業部門

(2) 国際交流を促進させる事業部門

(3) 「自然の叡智」を深化させる事業部門

※詳細は HP 参照

助成金の額 500 ～ 2,000 万円。

・助成対象費用が 1000 万円以内
対象費用の 80% を上限。

・助成対象費用が 1000 万円を超える場合
800 万円+対象費用の 1000 万円を超える額の 50% を上限。

応募方法 所定の「応募様式(ワード、エクセル)」を HP よりダウンロードし必要事項を入力、プリントアウトしたものは書留郵便または宅配便にて提出、データファイルは下記のメールアドレス宛に送信。

問い合わせ先 財団法人地球産業文化研究所 愛・地球博理念継承発展事業部(長谷)

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 41 番 12 号
日本橋第二ビル 6 階

Tel 03-3663-2500 Fax 03-3663-2301

jsk@gispri.or.jp

HP http://www.gispri.or.jp/expo/grant_24.html

 環境

第 22 回 コメリ緑資金の会

受付期間 10月31日(月) 必着

対象団体 法人、団体に限る。(個人は不可)

自分がそだち
人がそだち
組織がそだつ



シンポジウム

思いがつなぐ生きがいの創造

～三重の市民活動を担うリーダーたちが次世代に伝えたい思い～

市民活動をやってみたいと思うきっかけは、団体の活動紹介や市民活動に関するノウハウをきいた時ではなく、実際に市民活動をしている人々の市民活動に対する

思いや情熱に触れ、感動した時ではないでしょうか。

そして、それが人々の生きがいを発見するきっかけにまで繋がるケースも少なくないのではないのでしょうか。

今回、三重県の市民活動を担うNPOの中でも特に活躍をされている組織のリーダーの、NPO や市民活動に対する思いをきける場をつくりました。

市民活動の魅力・やりがいなどをシンポジスト各々の目線で話していただきます。

シンポジスト

特定非営利活動法人津市NPOサポートセンター

理事長 川北輝さん

特定非営利活動法人 M ブリッジ

理事長 米山哲司さん

特定非営利活動法人伊賀の伝丸

代表理事 和田京子さん (50音順)

コーディネーター

特定非営利活動法人

三重県子どもNPOサポートセンター

理事長 田部真樹子さん

対象

・NPO のスタッフ

・市民活動に関心のある人 ※学生さんにもお勧めです

日時

11月19日(土) 13:30～16:00

場所

みえ県民交流センター イベント情報コーナー

参加費

無料

主催

みえ市民活動ボランティアセンター

問い合わせ先

Tel 059-222-5995 (中谷・野口) Fax 059-222-5971

E-mail center@mienpo.net

ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

対象活動

緑や花に囲まれた美しいふるさとづくりを目的とした、公共性ある緑化活動で、2012年4月1日～2013年3月31日までの活動を対象とする。※詳細はHP参照

助成金の額

毎年利益の1%を地域の緑化活動に還元
(第21回実績…10,421万円、864件)

応募方法

HPからダウンロードした申込書に必要事項を記入し、事務局あてに送付。

問い合わせ先

株式会社コメリ 「コメリ緑資金」事務局(早川・星野)
〒950-1492 新潟市南区清水 4501-1
Tel 025-371-4112 Fax 025-371-4151



midori@komeri.bit.or.jp

HP

<http://www.komeri.bit.or.jp/environment/greencapital/apply/>

環境

花王・みんなの森づくり活動助成

受付期間 10月31日(月)

対象団体 ・身近な緑を守り、育てる活動(以下、「森づくり活動」)に取り組んでいる団体。

・身近な緑を活用し、子どもたちに緑との触れ合いの機会を創出する活動に取り組んでいる団体。

対象活動 ・植樹や樹木の管理、里山や雑木林などでの保全と復元活動など

・子どもたちを対象とした植樹や植花体験活動、里山や雑木林などでの間伐や下草刈りなどの保全体験活動など、子どもたちが環境を大切に考える心を育む活動 ※日本国内での活動が対象

助成金の額 初年度50万円、2年目50万円、3年目25万円を上限に助成。※詳細はHP参照

応募方法 HPから所定の申請用紙をダウンロードし必要事項を記入の上、活動場所位置図及び活動場所現況写真の他、必要な資料を添えて送付。

問い合わせ先

財団法人都市緑化機構「花王・みんなの森づくり活動助成」事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-15-2
新神田ビル 8F

Tel 03-5256-7161 Fax 03-5256-7164



midori.info@urbangreen.or.jp

HP

<http://www.urbangreen.or.jp/>

芸術

三菱UFJ信託地域文化財団 平成24年度助成団体募集

受付期間 11月30日(水) 当日消印有効

対象団体 永年地域の音楽・美術・演劇・伝統芸能の各分野において、文化の振興に努力している国内の諸団体。
※音楽・演劇・伝統芸能部門は、アマチュアの団体・公演に限る。

※美術展部門は美術館が企画する展覧会等が対象となるので、アマチュアとは限定しない。

対象活動 国内の団体が、日本国内で行う、地域文化振興に寄与し、文化・芸術的に優れた公演・展覧会等。(2012年4月1日～2013年3月31日までに開催もしくは会期が開始するもの) ※詳細はHPの「募集要項」参照

助成金の額 助成金上限額に定めなし。(近年の実績は、1件当たり20～50万円)

応募方法 HPから「助成申請書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、郵便または宅配便で提出。

問い合わせ先

公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団 事務局
〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-2-4 日本橋ビル
Tel 03-3272-6993 Fax 03-3272-6994

HP

<http://mut-tiikibunkazaidan.or.jp/>



E-mail



ホームページ

NPO から寄せられた募集とご案内

企業の CSR 展示紹介

企業の社会貢献展～赤塚グループ～
10月には赤塚グループの地元小学校・養護学校への球根プレゼント(レインボープレゼント)、地元高齢者への園芸作業場の提供(ユートピアファーム)などについての展示紹介をいただきます。

日 時 10月1日(土)～10月31日(月)
9:00～22:00
場 所 みえ県民交流センター交流スペース
アスト津 3 階(津駅東口隣接ビル)
主 催 みえ NPO センター・ワーカーズコープ
問い合わせ Tel 059-222-5995
(富田・谷・安村・吉島)
Fax 059-222-5971
✉ center@mienpo.net
HP <http://www.mienpo.net/center/>

初心者の方対象

ドイツ語会話教室(津・四日市)

三重大学ドイツ人留学生を講師に迎えて、ドイツ語会話を学びます。全くの初心者の方が対象です。主に会話の練習をします。

日 時 10月7日～12月16日の毎金曜日(11月4日は休み)
津教室:18時45分～20時30分
四日市教室:19時～20時45分
場 所 津 教室:アスト津 5 階「橋北公民館研修室 B と C」
四日市教室:じばさん三重(四日市市立博物館となり)

対 象 どなたでも
参加費 12,000 円 ※要申し込み
応募締切 10月5日(水)
主 催 三重日独協会
問い合わせ 【津教室】
Tel 059-232-0594 (向井)
✉ am.deutsch1685@gmail.com
【四日市教室】
Tel 059-351-4843 (池田)
✉ ikeda-n@cty-net.ne.jp
HP http://www.ztv.ne.jp/apple/san_zhong_ri_du_xie_hui/Welcome.html

個別相談もあります

JICA ボランティア秋募集

「体験談&説明会」

青年海外協力隊・シニア海外ボランティア等の募集説明会です。実際にボランティアに参加された OB、OG の体験談発表や活動紹介ビデオ上映、制度説明などを行います。OB、OG や JICA 職

員との個別応募相談も実施します。

【津会場】

日 時 10月8日(土)14:00～16:00
場 所 みえ県民交流センター イベント情報コーナー(アスト津 3 階)

【四日市会場】

日 時 10月27日(木)18:30～20:30
場 所 じばさん三重 4 階視聴覚室
対 象 どなたでもご参加ください(ただし、ボランティア参加資格は20歳以上69歳までの日本国籍をお持ちの方)
参加費 無料 ※申込不要
主 催 独立行政法人国際協力機構(JICA)
問い合わせ Tel 059-223-8003
(三重県 JICA デスク:三輪田)
Fax 059-223-5007
✉ jicadpd-desk-mieken@jica.go.jp
HP <http://www.jica.go.jp/>

秋の講演会

誰にでも出来る やさしい自己発見の方法

「ひとり静かに自己を見つめたい。」こんな思いを持っている人は、多いでしょう。しかし、仕事や家事、勉強に追われてそのような時間を持てず、自己を見失いがちになります。今回の講演では、18年間読売新聞の人生相談を担当してきた講師と共に、誕生から現在まで経験してきた懐かしい記憶をたどり、忘れかけていた大切なことを見つけていきます。笑いあり、涙あり。心がジーンとあったかくなります。

講 師 三木善彦さん(大阪大学名誉教授、帝塚山大学教授、奈良内観研修所顧問)
日 時 10月8日(土)13:30～15:30
場 所 鈴鹿カルチャーステーション
(鈴鹿市阿古曾町 14-28)
定 員 50 人
参加費 1,000 円
応募方法 Tel・Fax または E メールにて下記のいずれかへ
応募締切 10月1日(土)
問い合わせ 鈴鹿カルチャーステーション
Tel & Fax 059-389-6603
✉ scsoffice@scs-3.org
サイエンス スクール 鈴鹿
Tel & Fax 059-370-2760
✉ sssoffice@scienz-school.jp
HP <http://www.scienz-school.jp/sb/>

いのちの講演会

「生きていく私たちにできること」 ～4つの命の物語～

年間3万人以上の自殺者、増え続けるがん患者数、いつどこで起こりうるかわからない天災。「死」と隣り合わせの生活にもかかわらず、死に対して「負」の側面、悲しみや不安や恐怖から目をそむけがち。必ず訪れる「死」を見つめることによって、いのちのかけがえなさを認識し、何気なく生きるのではなく、どう生きていくかを考えるキッカケになることを目的としたイベントです。

<告知動画>

<http://youtu.be/4lgWtq15Hr4>

日 時 10月10日(月・祝)
13:00～17:00
場 所 じばさん三重 6 階ホール
対 象 どなたでも
参加費 前売り 2,000 円
当日 2,500 円
※中学生以下無料
主 催 もあはぴ～ more happy club～
問い合わせ Tel 090-7305-6115 (うえやま)
✉ more-happy-uechan@live.jp
HP <http://kokucheese.com/event/index/12718/>

～NPO の現場から～

「これでいいのか!? まちづくり」 市民大討論会

NPO の政策提言力を高めるための四日市 NPO セクター会議の初めての試みです。

①現場から見てきた課題について、福祉・環境・子どもの3つの NPO から問題提起

②分科会で討論 ⇒ 出された意見は整理し、後日議会や行政へ提言します

日 時 10月15日(土)13:30～16:00
場 所 四日市本町プラザ 1 階ホール
対 象 「まちづくり」に関心のある方ならどなたでも、ご参加いただけます。
参加費 無料 ※申し込み不要
主 催 四日市 NPO セクター会議
問い合わせ Tel & Fax 059-363-3539(牧野)
✉ ssk21ww@yahoo.co.jp
HP www.geocities.jp/ssk21ww/
(NPO 法人市民社会研究所)

里親会講演会

「家族っていいねーあなたと歩む時間を大切にしたい」

親の病気や死別、その他親に養育されることが適当でないなどの理由から家庭で暮らすことができない子どもがいます。里親は、このようなこどもたちを自分の家庭に迎え入れ、家庭的な

雰囲気の中で愛情をこめて養育しています。みなさんも里親になりませんか。里親の生活をのぞいてみませんか。

日 時 10月16日(日) 13:30～15:40
＜講演会＞

第1部「里親をとりまく今」
13:35～14:30

講 師 三重県児童相談センター 主査
西澤 芳次

第2部「里親としての日々」
14:40～15:40

講 師 天理教里親連盟 富松 伸六
場 所 三重県伊賀庁舎4階 第3・4・5会議室(伊賀市四十九町2802番地)

対 象 一般県民

参加費 無料 ※要申し込み

応募方法 参加をご希望の方は、10月7日(金)までに下記へお申し込みください。

主 催 三重県里親会伊賀支部、三重県伊賀児童相談所

問い合わせ 伊賀児童相談所
Tel 0595-24-8060
(北戸・石川)
Fax 0595-24-6310

✉ kitadm02@pref.mie.jp

三重FPフォーラム 2011 in 四日市 セミナー「相続!～争族にならないために～」

第1部「財産を譲り受ける時、困らないようにするために」

第2部「生前にやっておくこと、やってはいけないこと」

相続する側、される側の2部構成セミナーです。

募集人数 各定員 70名 ※要申し込み
＜同時開催＞FPによる無料個別相談会

募集人数 申込先着 9組(1組 50分)

日 時 11月5日(土) 13:30～16:00

場 所 四日市文化会館 第4ホール

対 象 どなたでも

参加費 無料

主 催 (特活) 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 三重支部

問い合わせ Tel 0120-874-018(斎木)

✉ mie-bb@jafp.or.jp

HP http://www.jafp.or.jp/shibu/mie

国際交流フェスティバル 2011

～ちがいを知り楽しもう!地域から世界へ～
展示・ブース出展団体募集!

みえ県民交流センターの指定管理者、みえNPOセンター・ワーカーズコープは、三重県国際化推進事業の一環として、県内の国際交流団体有志で企画委員会を結成し、12月11日(日)国際交流フェスティバルを開催します。いろいろな催しの中の一つとして、NPOやNGOの活動紹介や資金づくりを目的とした展示や作品・民芸品等の紹介、販売ができるコーナーを設けます。ただ今、出展団体を募集中!

対 象 NPO、NGO、市民活動団体
応募締切 定数(40団体)に達しましたら締め切ります。

問い合わせ みえNPOセンター・ワーカーズコープ
Tel 059-222-5995
Fax 059-222-5971

✉ center@mienpo.net

HP http://www.mienpo.net/center/

復興支援ボランティア活動

東日本大震災復興支援活動 支援金の募集

まだまだ被災された方々への復興への人出は不足しております。

(特活) なかよしが12月から被災現地で復興支援ボランティア活動にご協力いただけます。何か少しでも力になりたいと考えていただける方、是非この募金活動にご協力お願いいたします。尚、支援金にご協力いただいた方でご希望される方は当HPで公開させていただきます。

＜三菱東京UFJ銀行＞

伊勢支店 普通預金 0043697

口座名義 特定非営利活動法人なかよし
フリガナ トクヒ ナカヨシ

問い合わせ (特活) なかよし

Tel 090-5866-6733(中村)

Fax 0596-24-6706

✉ nponakayosi@yahoo.co.jp

HP http://nponakayosi.web.fc2.com/saigai.html

熊野市・紀宝町の被災地支援

「東紀州行き!ボラパック」募集

台風12号で大きな被害を受けた熊野市と紀宝町へ「東紀州行き!ボラパック」として、被災地支援を行っています。このたびの東紀州地域の被災地は高齢世帯も多く、特に「平日」に活動いただける方の確保が課題となっております。みなさまのご支援をいただきますよう、ご案内申し上げます。

※詳細はHP参照

問い合わせ みえ災害ボランティア支援センター

Tel 059-226-6916

(平日 9:00-17:00)

HP http://www.mvsc.jp/mie/

✉ E-mail

HP ホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました!

掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

- (1)フォーマットに必要事項を入力の上、毎月10日までにお送りください。
- (2)E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ

原稿用フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

http://www.mienpo.net/center/

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

市民活動団体資金づくりへのご支援・ご協力御礼

みえ市民活動ボランティアセンターの「コーヒーファンド」にご寄付をいただき厚く御礼申し上げます。

アオキニック株式会社 様

フォレストテクニカル 様

株式会社アイブレーション 様

株式会社阪本事務機 様

＜順不同＞

みえNPOセンター・ワーカーズコープ グループ代表
特定非営利活動法人みえNPOセンター 代表理事 出丸 朝代

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: http://www.miebank.co.jp



三重銀行

理念と歩みから学ぶ

NPO物語 Vol.30

組織にスポットライトをあて
三重県内の市民活動団体を紹介していきます。地域社会の良さを
社会づくりに生かそう特定非営利活動法人 大杉谷自然学校
校長(理事長) 大西 かおり

高齢化する地域をなんとか元気にしたい

特定非営利活動法人 大杉谷自然学校の設立の経緯とミッションについてお聞かせください。

大台町の最奥部にある大杉谷地域では平成11年度に地域の大杉谷小学校が閉校となるなど、過疎高齢化による問題が顕著化していました。それで、平成13年度に環境教育や自然体験を提供しながら、地域を元気づけようと当校が設立されました。当初は「なんとなく、ご高齢の方が多いなあ、若者が少ないなあ」という程度の認識だったんです。しかし、現在、大杉谷地域は人口が300人弱になり、高齢化率が70%の限界集落となっていました。今、手を打たないと地域が消滅してしまうのではという不安は地域の人の中にも芽生えてきている状態です。

三重県内には他にも限界化して消滅の可能性のある地域がたくさんあると思うのですが、このような地域にこそ、現在の社会や人が学ぶべき素晴らしいことがたくさんあります。この大切な未来へのヒントを伝えて、社会づくりに役立つということが当校のミッションです。

廃校校舎を活用した
大杉谷自然学校

限界集落対策

活動の中で特に力を入れていることはどんなことですか？

地域の課題を踏まえてここ数年特に力を入れているのが、限界集落対策です。大杉谷地域は今、何か対策を講じないと将来消滅する可能性の大きい地域です。「地域が一つ無くなる」ということは、地域に伝わってきた伝統や技術、生きる知恵のみならず、そこに暮らす人々の気風のようなものが失われてしまいます。ですから、私たちというより、社会全体にとって地域の消失は非常に損失が大きいんです。

行政との協働で心がけてきたこと

行政との協働はどのようにすすめてきましたか？

この限界集落を少しでも食い止めるためには、若者のIターンの誘致が不可欠です。このような大きな問題に立ち向かうのはNPOだけでは力不足であることを実感し、3年前から大台町と協働しながら事業を展開するようになりました。

行政との協働という点で私たちが心がけてきたことは、「自分たちがこういうことをやりたいから支援してください。だからお金をください」ではなく、「具体的な課題をあげ、その活動内容とともに、自分たちはこれでこれだけの成果をあげることができる。だから応援してほしい」と伝えることです。

私たちとしては、無償で事業を実施することは「協力」

であるかも知れませんが、「協働」ではないと考えています。その事業に必要な資金面での応援もしていただいてこそ、初めて本当の「協働」であると思っています。当校の設立から関わり、地域の課題に対して常に協働で事業をしていただける大台町は大変理解があるということですね。小さなNPOでは実施できない事業を展開する、地域を変えるためにはやはり行政との関係や地域の方との本当の協働は欠かせないことです。

ニーズを作り出すということ

地域やプログラム参加者のニーズについては、どのようにお考えですか？

もう一つ私たちが事業展開で気を付けていることは、「社会のニーズ」についてです。ニーズというのは一般の方が既に心で認識しているからこそ社会に出ているわけです。ところが、私たちNPOというのは、ニーズをとらえることよりも、むしろ「ニーズを作り出す」ということが重要だと考えています。だから私たちは「これから必要だ」ということを先回りして提供することが結構あります。

既にニーズがあるものに関しては、当たり前ですが、実施すると必ず人が来ます。ですが、「この部分は社会に伝えたい!」という強い思いがあって、企画してみても「人が来なかった。がっかりだけど、やっぱりな」という事業もあります。例えば、地域の民泊にご厄介になったり、講師として高齢者の方にご登場いただく「孫さんクラブ・キャンプ」という事業があって、もう10年以上継続しています。

今でこそピーターが9割以上を超える人気事業となっていますが、実施し始めた当初は今ほど地域の魅力や重要性、教育力が一般に広がっていなかったの、参加者は数人ということがよくありました。10年の間に社会的にも地域の素晴らしさが広く認められてきたのです。

「人が来ない＝ニーズがない」と実施をやめていたら、多分地域の魅力こそ大切という私たちのメッセージは伝わっていなかったと思います。もちろん伝え方が悪い時は受け入れられない場合もあると思いますし、もちろんメッセージが間違っている可能性もあると思います。ですが、自分たちが目指す社会に必要なニーズだと感じることは間違いがないことを検証しつつ、人の来る来ないは二の次として、継続する必要性はありますね。



孫さんクラブ・キャンプの体験プログラムの様子



子ども・大人・家族など、
さまざまな対象に向けたプログラムを展開

キーワードは「面倒くさいけど良い社会」

今の社会に必要なものという視点をあげるならば、どのようにお考えでしょうか？

私たちが理想としている社会の形とは、高度成長期以前、地域社会が持っていたような良さというものを再評価する社会です。地域の人々との接点が深く、人が助け合っているいろんなことを成し遂げてきた地域社会、そういった形が理想です。

今の社会ってお金で解決出来ることが昔に比べて非常に増えてきていると思います。例えば葬儀は地域で出すものでしたが、今、地域で行う葬儀が激減しています。大きな斎場に行くようになったのですね。そうすると、人々のお世話にならなくてもいいわけです。昔は人との繋がりがなければなしえなかったことが、今の社会ではお金があれば補えることになるわけです。それでも悪いことはないんです。だけど、昔は地域の人々の協力がなければできないことがたくさんあった。

例えば田畑の石垣積とか道や水路の整備などですね。そういう備えのために地域で密に一致団結してきた。それが田舎の良さである反面「面倒くさい」ところでもあったわけです。だけど、それが全くなくなって、人の協力じゃなくて、お金で解決できるようになってしまうとやっぱりそれはそれで寂しいかなとも思います。

だから、お金だけでは解決出来ない社会に、もう少し戻ってもいいのではないかなと思いますね。「面倒くさいけど良い社会」ということですね。その部分を担当するNPOが誕生してきたという背景は、理解できる社会構造ではないでしょうか。

【データ】

〒519-2633 三重県多気郡大台町久豆199
T E L 0598-78-8888
F A X 0598-78-8889
E - m a i l osn@ma.mctv.ne.jp
ホームページ <http://osugidani.jp/>
代 表 者 理事長 大西かおり
団体設立年月日 2001年 4月 1日
NPO法人化年月日 2007年 8月 14日
会 員 数 正会員 10名
会 費 無料

とぴっくす

NPOにかかわる全国的な動きなど、お伝えしたいことを随時取り上げます。

活動を継続していくために

東日本大震災から6カ月以上の月日が流れた現在、被災地へのボランティアに参加する人たちが日を増すにつれ、減少しているという現状がある。

これは、NPO が活動を継続していくことの難しさの問題と共通している点があるのではないだろうか。NPO 活動の支援の基本は、自立支援。あくまでも当事者、その地域の方が主役である。

支援者が「助けます!」「力になります!」だけでは、時間が経つにつれて、どうしても世間の関心が薄れてきてしまう。結果、途中で支援活動を継続できなくなるケースも少なくない。

そこで、ポイントとなるのは「Win・Win の関係性」ではないだろうか。当り前のことではあるが、最初から自分側の論理だけを焦点においた活動ではなく、活動を長く続けていくためには、支援を受ける側の主体性を大切にしながら支援者にもなにか自分のため、または自分の地域のためになると感じることができる関係性を築くということが大切ではないだろうか。

継続した活動を行う NPO は、地域からも信頼されやすい。地域の NPO が継続した活動をしていくためにも、被災地の復興にも、「Win・Win の関係性」をつくることは、重要な視点といえるのではないだろうか。

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか?～

中間支援、NPO 支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。参加は無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

日 時 11 月第 3 木曜 13:30 ~ 16:00 (予定)

NPOのための無料よろず相談

これから活動を始めたい、団体の運営についての悩み、会計帳簿のつけ方は?職員を雇うときの手続きは?助成金をとりたいけれど...

先着順のため、相談日の1週間前までにお申し込みください。

対 象 NPO 法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

日 時 (1) 10:00 ~ 11:00 (2) 11:00 ~ 12:00
今後の予定: 10 月 4 日 (火)、11 月 1 日 (火)

場 所 みえ県民交流センター
アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

相談員 NPO 法人 みえ NPO センター
代表理事、事務局長、事務局スタッフから内容に応じて

問い合わせ みえ市民活動ボランティアセンター
TEL 059-222-5995

図書 コーナー

県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

《Monthly Selection》

◆ フルコスト・リカバリー (総費用の回収)

ーサードセクターが公共サービスを担うためにー

後 房雄 編

発 行: 公益社団法人日本サードセクター経営者協会
発行日: 2011 年 9 月 1 日

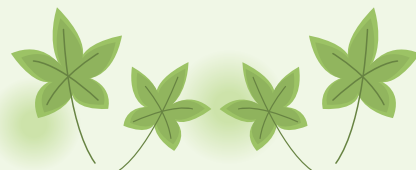
◆ テキスト市民活動論

ーボランティア・NPO の実践から学ぶー

社会福祉法人大阪ボランティア協会 編

早瀬昇・水谷綾・永井美佳・岡村こず恵 ほか著

発 行: 社会福祉法人大阪ボランティア協会
発行日: 2011 年 9 月 1 日



認証した特定非営利活動法人 (2011 年 8 月 10 日 ~ 2011 年 9 月 9 日 認証分)

- | | |
|-------------|-------------------|
| ① 認証団体名 | ① 共同受注窓口みえ |
| ② 法人事務所の所在地 | ② 津市桜橋2丁目131番地 |
| ③ 活動分野 | ③ 保健、経済活動、その他 |
| ④ 認証年月日 | ④ 2011 年 8 月 30 日 |
| ⑤ 代表者 | ⑤ 理事長 松村 浩 |

「NPOから寄せられた募集とご案内コーナー」の原稿締切は前月10日です。
掲載希望の方は10日までに情報をデータでお送りください。
(詳細 5 ページ)

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】津 市 みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 〈桑名市〉桑名市市民活動センター 〈いなべ市〉いなべ市市民活動センター 〈東員町〉とういんボランティア市民活動支援センター 〈四日市市〉四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 〈亀山市〉亀山市市民協働センター 〈鈴鹿市〉市民ネットワークずのぼろ/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 〈松阪市〉松阪市市民活動センター/三重中京大学 〈伊勢市〉いせ市民活動センター/皇学館大学 〈鳥羽市〉鳥羽NPOネットワークセンター・結 〈志摩市〉志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター 〈名張市〉名張市市民活動支援センター/エコリポート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター 〈伊賀市〉伊賀市市民活動支援センター/ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 〈尾鷲市〉東紀州コミュニティデザインセンター 〈明和町〉めいわ市民活動サポートセンター 〈南伊勢町〉南伊勢町町民文化会館 〈紀宝町〉紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野]) / 三重県米町庁舎(情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 三重県立こころの健康センター / 斎宮歴史博物館 / 三重県立博物館 / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 / 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 三重県鳥羽パート情報センター / 三重県立熊野古道センター / 各市町役場 / 各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下JA・JA三重信連

RE70 **VEGETABLE OIL INK**

古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。